



衆議院議員選挙法施行規則中選挙区被選挙資格件

機密

大隈

1906



114
A 2597



選舉人名簿調製

日前(三月三十一日マテ)ニ其

資格ヲ具有シタル者タルヘシ

第十八條ニ選舉長ハ四月一日ヲ

期トシ各町村長ヲシテ一ノ投票

區域内ニ於テ選舉資格ヲ有スル

者ヲ調査シタルトアリ本條ノ選

舉資格ヲ有スル者トハ調製ノ期

日現ニ選舉人タル者ノ資格ヲ

大正十一年四月
大隈侯爵邸
贈

具備セル者ヲ指スナリ故ニ七月
ヲ待テ始テ二十五歳トナリ及赦
免ノ後始テ滿三年ニ達スル者ハ
調製ノ日未タ資格ヲ有セサルヲ
以テ選舉人トシテ選舉人名簿ニ
記入スルヲ許サ、ルナリ蓋名簿
調製ノ日ニ當テ七月一日ヲ限思
トシテ未來ノ日期ヲ迎ヘ以テ各
種ノ年限ヲ算スルトキハ調製ノ
不便少シトセズ故ニ調製ノ日現

ニ選舉人タルノ資格ヲ有スル者
ノミヲ名簿ニ記入セシムルナリ

第二條 選舉人其ノ府縣外ニ住居

シタルトキハ時日ノ長短ニ拘ラ

ズ選舉法第六條住居ノ期限ヲ中

斷ス其ノ府縣内ニ復歸シタルノ

後更ニ滿一年以上住居スルニ非

サレハ選舉人ノ資格ヲ有セス

第三條 納稅資格ハ地租ニ在テハ
選舉人名簿調製ノ期日前(三月三
十一日マテ)滿一年以上土地ヲ所
有シ仍引續キ之ヲ所有シテ其ノ
租ヲ納ムル者ヲ以テ合格トシ所
得稅ニ在テハ選舉人名簿調製ノ
期日前(三月三十一日マテ)滿三年
以上之ヲ納メ仍引續キ納ムル者
ヲ以テ合格トス
三年以上所得稅ヲ納メ及一年以

上地租ヲ納ムル者其地租及所得稅ヲ併セ十五圓以上ニ及フトキハ納稅資格ヲ有スルモノトス但三年間十五圓以下ノ所得稅ヲ納ムル者毎年ノ納額ニ差異アルトキハ其ノ最少額ヲ以テ地租ニ併算スヘシ

地租徵收法ニ依レハ畑方宅地山林原野牧場ノ地租ハ第一期及第二期ニ分テ之ヲ納ム第一期ハ七月一日ニ始リテ八月三十一日ニ終リ第二期ハ九月一日ニ始リテ十月三十日ニ終ル故ニ此等ノ土地ハ七月一日ニ之ヲ買得スレハ翌年三月三十一日ニハ未タ滿一年ニ達セサルモ其ノ稅ハ既ニ一年分ヲ納ムト謂フコトヲ得ヘシ是ニ於テカ選舉法ノ所謂滿一年以上十五圓以上ヲ納ムル者トハ一年以上其ノ所有セル土地ニ付

月一日ニ始リテ八月三十一日ニ終リ第二期ハ九月一日ニ始リテ十月三十日ニ終ル故ニ此等ノ土地ハ七月一日ニ之ヲ買得スレハ翌年三月三十一日ニハ未タ滿一年ニ達セサルモ其ノ稅ハ既ニ一年分ヲ納ムト謂フコトヲ得ヘシ是ニ於テカ選舉法ノ所謂滿一年以上十五圓以上ヲ納ムル者トハ一年以上其ノ所有セル土地ニ付

テ納ムルモノヲ云フカ得テ其ノ
所有ノ年期ニ拘ラズ一年分以上
ノ納税ヲ爲スモノヲ云フカノ疑
點ヲ生ス今地租ハ一年以上所有
セル土地ニ付テ納ムルモノト規
定シテ右ノ疑點ヲ決シタル理由
ハ尤ノ如シ

第一選舉法ノ條文ニ依レハ一年
以上直接國稅十五圓以上ヲ納ム
ル者トアリ一年以上納ムル者ト

ハ一年以上納税ノ義務ヲ負擔セ
ル者トササル可ラス而シテ納税
ノ義務ヲ負擔スルニハ必ズ其ノ
土地ヲ所有セサルヲ得ズ是レ一
年以上土地ヲ所有スルヲ要スト
トシタル所以ナリ
第二納期ハ行政上ノ便宜ニ出
ルモノナリ行政上ノ便宜ニ依レ
規定ハ行政官ノ注意ヲ以テ又之
ヲ變更スルヲ得納期ニ依テ選舉

資格ヲ定ムトモ、選舉法ナル法
律ハ行政官ノ便宜判定ナル徵收
法ニ依テ常ニ變更ヲ蒙ルモノト
ナラン此レ豈ニ立法ノ精神ナラ
ンヤ

第四條

賃入ノ地租ハ其ノ地主ノ

納稅資格ニ算入ス

納稅ノ義務ハ其ノ性質所有者ニ
歸ス而シテ其ノ賃取主ヨリ納稅
スルモノハ單ニ所有者ニ代ルノ
所為ニ過キス抑所有者ハ其ノ土
地ノ果實ヲ收取スルノ權アリ然
リ而シテ現行法律ハ賃入ノ場合
ニ於テ其ノ土地ヲ債主ニ渡シ其
ノ土地ヨリ生ズル果實ヲ僦テ債

主ニ收取セシムル者ハ一ニ以テ
利息ニ充テ一ニ收税上ノ便宜ヲ
謀リ其ノ土地ニ賦課スル納税ノ
義務ヲ債主ニ負擔セシムルニ在
リ故ニ債主ニ於テ納税スルモ其
實ハ所有者之ヲ納ムルニ過キサ
ルナリ是レ地主ノ納税資格ニ算
入スルモノトナシタル所以ナリ

第五條

被選人ハ納税資格ノ計等
ヲ除ク外選舉ヲ行フ年ノ七月一
日マテニ其ノ資格ヲ異有シタル
者タルヘシ

選舉法ハ第八條ニ於テ被選人ノ

資格ヲ規定スルニ當テ獨納税年

限ヲ明言シテ而シテ年齡及其ノ

他ノ算期ニ及フコトナシ蓋年齡

ヲ納税年限ト同クシ調整ノ期日

ニ依リ算スルニ被選人ニ関シテ

ハ選舉人ニ於ケル如キノ要用アルニ非ス何者被選人ハ選舉人ノ如ク候補名簿ヲ製スルニアラヌ從テ選舉期日ノ前ニ果シテ被選人タルノ資格ヲ有スルヤ否ヤヲ調査スルノ必要モ存セサレハナリ此レ蓋立法者ノ被選人ニ於テ年齡其ノ他ノ異期ヲ默過シタル所以ナリ法律ニ既ニ三月三十一日マテニ其ノ資格ヲ限ルノ明文

ナキトキハ獨純理ニ依テ被選人ニ利益アルヘキ解釋ヲ為スノ一途アルノミ抑被選人ノ資格ヲ限リタル所以ノモノハ此ノ資格ヲ有セサレハ立法權ノ施行ニ參與スルノ能力ナキモノト断定シタルニ過キサルヘシ然ラハ被選人ノ資格ハ其ノ立法權ニ參與スルノ時ニ於テ必要ナルモノニシテ未タ立法權ニ參與セサル以前ニ

其ノ必要アルヲ見サルナリ故
ニ例之ハ七月一日ニ始メテ三十
歳トナリタル者又ハ一旦身代限
ノ處分ヲ受ケタル者ニシテ七月
一日前ニ其負債辨償ヲ完済シタ
ル者ハ共ニ其ノ資格ヲ全クスル
者ナリ是レ被選人ノ資格ハ七月
一日マテニ并スルモノトナシタ
ル所以ナリ

第六條 選舉法第九條第一項ノ宮
内官トハ宮中及宮内省所屬官吏
會計検査官トハ會計検査院長部
長検査官收税官トハ税関官吏府
縣收税長收税属警察官トハ警視
總監副總監警視警部長警部警
部補ヲ謂フ

第七條 選舉法第九條第二項ノ官
吏當選ニ應セントスルトキハ本
屬長官ノ認許ヲ受クヘシ

第八條 警視廳所属官吏ノ選挙法
第十條ニ依リ其ノ管轄区域内ニ
於テ被選人タルコトヲ得ス

第九條 選舉ノ管理ニ関スル郡ノ
官吏ハ其ノ選舉区内ニ於テ被選
人タルコトヲ得ス

第十條 選舉法第十二條僧侶及教
師トハ教規若ハ宗制ニ從ヒ其ノ
分限ヲ有スル者其ノ他宣教ニ從
事スル者ヲ謂フ

第十一條 選舉法第十四條ノ赦免
トハ特赦ヲ謂フ



